



2020 年 11 月 28 日

アウディ ジャパン株式会社
プレスサイト <http://www.audi-press.jp/>

お客様問い合わせ 0120 - 598 - 106
アウディ コミュニケーションセンター

新型 Audi RS 6 Avant / RS 7 Sportback を発売

- 究極のハイパフォーマンスを発揮する RS モデルに新たな 2 車種を設定
- 4.0ℓ V8 ツインターボに quattro を組み合わせ、最高出力 600PS、最大トルク 800Nm を発揮
- 48V マイルドハイブリッド、シリンダーオンデマンドの採用により環境性能にも配慮

アウディ ジャパン株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：フィリップ ノアック）は、アウディラインアップにおける究極のハイパフォーマンスシリーズ RS モデルに、高性能ステーションワゴン Audi RS 6 Avant および、プレミアムスポーツ 4 ドアクーペ Audi RS 7 Sportback の新型 2 車種を設定し、2021 年 1 月以降、全国のアウディ正規ディーラー（124 店舗、現時点）を通じて販売開始予定です。

RS モデルは、アウディのハイパフォーマンスモデルを手掛ける Audi Sport GmbH によって開発された、高性能かつエクスクループな仕様となっています。

Audi RS 6 Avant および Audi RS 7 Sportback は、グロスブラックの 3D ハニカム構造のシングルフレームグリルを採用。また quattro 四輪駆動であることを想起させるフェンダーは、大きく張り出しています。これらをはじめ、フロントドア、ルーフ、テールゲートなどを除いて、ボディ外板の多くが RS モデル専用のデザインとなっています。

インテリアは、Audi RS 6 Avant、RS 7 Sportback 共にバルコナレザーの S スポーツシートを採用。大型のアルミニウム製シフトパドルとマルチファンクションボタンが設置されたヒーター機能付 3 スポーツステアリングホイールなどにより、スポーティさとプレミアム性を高めています。

両モデルに共通のパワーユニットは、最高出力 441kW(600ps)、最大トルク 800Nm を 2050rpm から 4500rpm までの広い回転域で発生する 4ℓ V8 ツインターボエンジンに、トランスミッションは 8 速タイプトロニックを組み合わせ、48V マイルドハイブリッドやシリンダーオンデマンド (cod) を採用することで効率化を図っています。駆動方式は quattro フルタイム四輪駆動で、セルフロックングディファレンシャルを搭載。リアスポーツディファレンシャルを標準装備しています。サスペンションは、よりスポーティなチューニングを施した RS アダプティブエアサスペンションを標準採用。また、コイルスプリングとダンピングコントロールサスペンションにダイナミックライドコントロール (DRC) を組み合わせた RS スポーツサスペンションプラスがオプションで選択可能です。独自の油圧システムを組み込んだ DRC がコーナリング時のロールや急加速、急減速時のピッチングを抑制することで、乗り心地を損なうことなくダイナミックなハンドリングを実現しています。さらに、状況に応じて後輪を最大 5 度、前輪と逆位相に操舵することで、低速走行時には取り回し性能を、高速走行時には同位相によってステアリングレスポンスを高める 4 輪操舵システム、オールホイールステアリング、RS モードを持つドライブセレクトを標準装備としています。

最新のデジタル技術やセーフティ技術ももちろん搭載。10.1 インチと 8.6 インチの 2 つのタッチディスプレイを採用した MMI タッチレスポンスからなるインフォテイメントシステムを採用。Bang & Olufsen 3D サウンドシステムを標準装備としています。またアダプティブドライブアシストやアウディプレセンスシティ、アウディサイドアシストなど、数々の先進運転支援システムを備えています。

車両本体価格

モデル	エンジン	トランスミッション	駆動方式	ステアリング	車両本体価格 (税込)
Audi RS 6 Avant	4.0ℓ V8 直噴 ツインターボチャージャー 600PS/800Nm	8速 タイプトニック	quattro	右/左	17,640,000 円
Audi RS 7 Sportback	4.0ℓ V8 直噴 ツインターボチャージャー 600PS/800Nm	8速 タイプトニック	quattro	右/左	17,990,000 円